

教育研究データ		
1. 氏名	木下 英司	
2. 生年月	1968年9月1日	
3. 取得学位	博士（薬学）	
4. 教育業績		
教育上の能力に関する事項	年月	概要
(1) 教育内容・方法の工夫	2022年7月 ～2023年11月	① 管理栄養士必修科目「人間栄養学特論Ⅰ」 チームティーチングとして、夏期休業期間を利用し学生が自ら調べ学習に取り組む課題について、チーム内の教員が前期中の学生の状況等を確認しあった上で、科目横断的な取り組みとなるような検討・企画し、学生に課した。学生の提出課題を確認し、授業等でのフィードバックについて検討・実施を行なった。また、チーム内の教員間で提出課題による学生の知識取得状況を確認し、情報共有を行なった。
	2021年11月 ～2022年10月	② 管理栄養士・栄養士必修科目「卒業研究」 研究室配属後、研究テーマの内容を十分に理解するためにテーマの背景等を自主的に調べることによって、教員と双方向性の議論ができる能力を習得させた。卒業研究を行う過程において、研究とは再現性が重要であることを理解させ、信頼性の高い結果が得られるように日々努力させた。最終的に、卒業論文としてまとめるとともに、成果を発表させた。これらを通して、問題解決力、応用力、コミュニケーション力等を身に付け、自立して研究を行なった経験を、学生自らの生涯学習に繋げることがねらいである。
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2022年9月 ～ 2023年2月	① <u>進路ガイダンス「分野別説明会」</u> ： 「栄養分野 ～栄養士・管理栄養士～」 島根県立平田高等学校：2022年9月21日 三田尻学園誠英高等学校：2022年12月16日 ② <u>進路ガイダンス「模擬授業」</u> ： 「食べもの・栄養分野の学び」 山口県私立柳井学園高等学校：2023年2月9日

5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
① History of Phos-tag technology for phosphoproteomics.	共著	2022 年 4 月	<i>J Proteomics</i> 252, 104432 (2022)
② Recent advances in the Phos-tag technique focused on the analysis of phosphoproteins in a bacterial two-component system.	共著	2022 年 4 月	<i>J. Proteomics</i> 252, 104429 (2022)
③ Evaluation of four phosphopeptide enrichment strategies for mass spectrometry-based proteomic analysis.	共著	2022 年 4 月	<i>Proteomics</i> 22, e2100216 (2022)
④ Phos-tag-based phosphate affinity chromatographic techniques.	共著	2022 年 11 月	<i>J. Chromatogr. Open</i> 2, 100051 (2022)
⑤ Use of the <i>Escherichia coli</i> expression system for analysis of the kinase-substrate relationship.	共著	2022 年 12 月	<i>J. Electrophoresis</i> 66, 13–20 (2022)
(3) 研究・作品発表		発表の年月	発表学会等
① さまざまなタンパク質合成系で作成した Src ファミリーチロシンキナーゼのリン酸化状態と活性.		2022 年 11 月	日本電気泳動学会 (電気泳動 66, 71-79)
② フォスタグ技術を利用したバクテリア 2 成分伝達系リン酸化タンパク質の定量解析.		2022 年 11 月	広島文教食物栄養研究会 (広島文教食物栄養研究会誌 40, 4-10)
(4) 所属学会			
① 日本生化学会			
② 日本プロテオーム学会			
③ 日本電気泳動学会			